



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

2月号



▲長距離走大会

### どうする私

校長 柴田 昌一

大河ドラマ「どうする家康」が始まりました。登場する家康像が今までとは違うようです。二百六十五年続いた徳川幕府を築いた偉大な人物で、決断力があり忍耐強い家康というよりは、家臣たちに支えられて迷いに迷いながら判断する家康のようです。

迷いに迷いながら判断することや言え、三年生の進路決定があります。現在、三年生は入試真っ只中です。進路の決定に向けて、三年生は担任と何度も何度も話し合っています。大切な自分の人生です。卒業後どのように過ごすかで、今後の生き方が変わります。判断に迷い、なかなか決定することができない気持ちはよく分かります。

おそらく家康は、今を生きる私たちと同じように幾多の悩みにぶち当たってきたに違いありません。織田信長から危険な戦いの先鋒を命じられたり、敵国との内通を疑われ、妻である瀬川姫（築山殿）と嫡男の信康の二人を死に追いやらなくてはならない状況にさせられたりするなど、理不尽なことをたびたび強いられました。まさに今回の大河ドラマで描かれているように「どうする」の連続だったと思います。

そのような家康が本当にすごいと思うのは、究極の「どうする」の意思決定で一度も決定的なミスをおかさず、徳川家ばかりか日本に二百六十五年という長きにわたる平和を築いたことです。私は今回の大河ドラマで、家康が決定的な判断ミスをおかされた理由についても注目したいと思っています。



さて、葵中の皆さん。皆さんの中には生きていくのがつらく解放されたいと思っている人や、一度でもそう思ったことがある人がいると思います。そのように思うことは特別なことでしょうか。恐らくですが、あの家康でさえも現状から逃げたいと思ったことがあったのではないのでしょうか。家康だって「どうする」と悩むのです。私たちが「どうする」と悩むのは当たり前だと思っています。「どうする私」ではないと思いませんか。

では、「どうする」と悩んだとき、どうすればいいのでしょうか。家族や友達、先生など、信頼のおける人に「助けて」「教えて」と言うことが大切な方法の一つだと思っています。家康も、信頼のおける家臣の助けがあつてこそ生きていくことができたと言えるのではないのでしょうか。

七月号の巻頭言で、昨年度の学校診断アンケートを振り返り、生徒が「学校は楽しいところ」と感じるようにしたい、「保護者が教師に我が子のことを相談しやすい」と思えるようにしたいと書きました。今年度のアンケートの結果を見てみると、学校を楽しんでいる生徒は増えてきましたが、教師に相談しやすいと感じた保護者は増えていませんでした。私を含め職員が保護者から相談したいと思っていただけではどうすればよいのでしょうか。「どうする私」。考えます。

# 三学期の抱負

## 二年生に向けて意識すること

一年一組

二〇二三年、新たな一年に私は二つの目標を決めました。

一つ目は、勉強を頑張ることです。今まで

あまりよく分からず、時間に余裕がなかったり、効果的な勉強ができなかったりしました。そのため、今年は効率的な勉強方法を身につけて、目標を決めて取り組むことを意識します。そして、授業では3C(スリーちゃん)を意識し、チーム学習では互いに分からないことをそのままにしないよう教え合い、伝え合うなどして、精いっぱい頑張りたいです。

二つ目は、周りの人の気持ちを考えて行動することです。昨年は級長に挑戦し、より良いクラスになるよう頑張ってきました。三学期は、些細なことに気が付けるように、周りをよく見たり、意見を聞いたりして、ますます笑顔あふれるクラスにしていけるように頑張りたいです。

また、一年生としてはメリハリのある学年を目指したいと思っています。二年生に向けて、授業や放課、清掃など、自分たちで状況を考えて動けるようになることを意識し、中学校の中心になっていくための準備を進めていきます。級長会で課題や目標を話し合い、学年のみんなに意識してもらえるように呼びかけていきたいです。二〇二三年がよい一年になるよう、まずはこの三学期を精いっぱい取り組んでいきたいと思っています。

## 自信・自律・自覚

二年六組

約三週間にわたる冬休みでしたが、充実した時間を過ごすことができましたでしょうか。

私は、二学期を振り返ってみましたが、二学期に、自分を変えようと級長に立候補しました。実際に級長をやってみると、今まではクラス全体のことを見るのができておらず、自分のことしか考えていないのがつきました。そこで、帰りの会でクラスの現状や改善したいことをみんなに伝えようと、みんなでクラスを良くしようという気持ちが高まっていきました。個性を認め合い、誰とでも話ができる雰囲気生まれ、クラスの仲が良くなったと実感することができ、自信ができました。

さて、二年生は一月三十一日からスキー研修があります。スキー研修のテーマは「自律」です。自分を律するって書きます。私たちは、スキー研修を通じていつも支えてくださっている方々に感謝する心を忘れずに、各自で立てた目標を達成できるように、自分ことは自分でやるということ大切に過ごしていきたいです。

そして、三月には卒業を祝う会もあります。祝う会では、二年生が主体となって準備を進めます。四月には私たち二年生は最高学年になります。その自覚をもち、三年生の先輩方に安心して卒業してもらえよう、立派な姿を見せられるように、日々みんなで成長していきたいです。

## 最後の学期

三年一組

冬休みが終わり、中学校生活最後の学期である三学期が始まりました。三年生が登校するのはあと三十九日です。私は、残り少ない中学校生活を中学生の生活信条である「今が大切」を意識していきたいです。そのために力を入れたことが三つあります。

一つ目は、勉強です。今年度から公立高校の受験が早まったことで、私立高校の受験も少し早くなり、早い人は一月中に受験の日を迎えます。自分の第一志望の高校に合格するために、無駄な時間を作らず、メリハリをつけて勉強に取り組みたいと思います。私たち受験生にとって、受験はとても不安ではありますが、今の自分にできることを精いっぱいやって、少しでも多くの自信をつけられるようにしていきたいです。

二つ目は、今一緒にいる仲間との関わりです。卒業すると、離れ離れになり、予定が合わず、なかなか会えなくなってしまうものだと思います。だからこそ、学級や学年の時間など一つ一つのことを楽しんで全力で取り組み、仲間と一緒にいられる瞬間を大切にしていきたいです。

三つ目は、学校のために役立つことをすることです。生徒会役員として学校のために何ができるかを考え、実行し、後輩たちに中学生としての模範を示せるようにしたいです。

以上のことに力を入れ、悔いなく、笑顔で卒業できたらいいと思います。

# 長距離走大会

令和四年二月二〇日(火)

天候に恵まれ、二月にしては心地よい晴天のもと、校内で長距離走大会が開催されました。生徒は、「マラソンの部」と「継走の部」に分かれ、男子一五〇〇m、女子二五〇mの距離を精いっぱい走り切りました。学級のために力の限り走る姿、仲間が走り切るまで大きな声で応援する姿など、生徒の頑張りが随所に見られました。

3年		2年		1年		競技	優位
女子	男子	女子	男子	女子	男子		
5組	5組	2組	6組	4組	4組	4組	優勝
3組	1組	1組	4組	4組	2組	2組	2位
/	/	4組	/	6組	/	5組	3位

# 生徒 学校教育診断結果

A : よくあてはまる

B : ややあてはまる

C : あまりあてはまらない

D : 全くあてはまらない (数字は%)

\* 前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	生徒への質問項目	前年比	■ : A + B	■ C + D
1	学校へ行くことが楽しい。	+3.34	87.4	12.6
2	あいさつがしっかりできている。	-2.55	87.5	12.5
3	目標をもって行事や学校生活に取り組んでいる。		84.4	15.6
4	靴やスリッパの整頓ができている。		92.9	7.1
5	友だちや周りの人を思いやることができる。		96.4	3.6
6	生徒会活動(行事、プロジェクト、委員会など)を積極的に取り組んでいる。		80.5	19.5
7	授業は分かりやすく、楽しい。		81.9	18.1
8	タブレットを授業等で有効に使っている。		90.3	9.7
9	授業の中で、「ちゃんと聴きます」ができている。		92.7	7.3
10	授業の中で、「ちゃんと伝えます」ができている。	+3.80	68.1	31.9
11	授業の前に、「ちゃんと始めます」ができている。		92.3	7.7
12	学級の係活動やそうじを真剣にやっている。		93.1	6.9
13	ボランティア活動や被災地支援活動に進んで参加している。		56.3	43.7
14	道徳の授業は、生き方を考えるよい機会になっている。		83.4	16.6
15	図書室の利用や読書をするを大切にしている。	+5.98	65.0	35.0
16	部活動に、進んで参加している。 ※3年は自分の活動を振り返る。		88.0	12.0
17	通知表は、自分の学習や生活の様子をよく表している。		92.7	7.3
18	クラスに問題があれば、皆で協力して解決できるよう取り組んでいる。		84.3	15.7
19	学校は、いじめや問題行動にたいねいに対応してくれる。		84.8	15.2
20	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる友だちがいる。		92.3	7.7
21	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる先生がいる。	+3.38	77.7	22.3
22	インターネットやスマートフォン等は正しく利用している。	*	96.5	3.5
23	スマートフォン等にフィルタリングをかけている。	* +4.09	73.8	26.2
24	毎日、朝食を食べている。		90.7	9.3
25	給食後、歯磨きをしている。		76.1	23.9



## 1. 学校へ行くことが楽しい ↗

楽しい学校を支える三本柱は、①学ぶことが楽しい ②友だちが楽しい ③先生が楽しい だと思います。昨年度よりも上昇しましたが、楽しいと感じていない12.6%の生徒も楽しいと感じられる学校になるように努めてまいります。

## 2. あいさつがしっかりできている ↘

人は、自分の存在を認めてもらうことで自信が増します。もし、あいさつをされないと存在を否定されたような気がして不安で悲しくなります。恥ずかしいと言う人もいかもしれませんが、積極的にあいさつをして、お互いの存在を認め合うことができるように努めてまいります。

## 15. 図書室利用や読書 ↗

葵中学校の図書室は生き生きとしています。生徒が読みたい新刊を購入し、本を手に取りたくなるような配置がされています。ピブリオバトルや本の紹介など、図書委員会による活動の成果だと思います。

## 21. 相談できる先生がいる ↗

友達との関わりや進路、学習など、自身の生活において困ったり悩んだりするのは普通のことだと思います。そのときに相談できる相手がいれば、問題が深刻化する前に解決に向かう可能性が高まります。相談相手の一人に先生を加える生徒が増えるように今後も努めてまいります。



# 保護者 学校教育診断結果

A : よくあてはまる B : ややあてはまる  
 C : あまりあてはまらない D : 全くあてはまらない (数字は%)

\*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	項目	前年比	A + B	C + D
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。		87.5	12.5
2	お子さんには、信頼できる友達がいると思いますか。		87.4	12.6
3	お子さんは、学習内容が身につけていると思いますか。		66.6	33.4
4	お子さんは、部活動に進んで参加していると思いますか。		83.0	17.0
5	お子さんには、信頼できる先生がいると思いますか。		80.0	20.0
6	お子さんは、学校のことや友達のことを話しますか。		79.4	20.6
7	お子さんは、家庭や地域であいさつができていますか。		83.3	16.7
8	教師は、楽しい授業をしていると思いますか。	-4.16	80.2	19.8
9	教師は、お子さんのよいところを認めていると思いますか。	-5.02	90.9	9.1
10	学校は、いじめや問題行動にたいねいに対応していると思いますか。	-5.14	83.5	16.5
11	教師にお子さんのことを気軽に相談できますか。	-7.31	79.3	20.7
12	葵中新聞や学年通信などを読んでいますか。		80.9	19.1
13	学校は、道徳の授業や行事などで、思いやりや命の大切さを育てようとしていると思いますか。		85.5	14.5
14	学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしていると思いますか。		90.2	9.8
15	学校は、授業参観や行事など開かれた学校づくりに努めていると思いますか。(Web配信を含む)	+4.17	87.9	12.1
16	学校は、体育の授業や部活動・行事を通して、お子さんの体力を健やかに育もうとしていると思いますか。		89.0	↑1.0
17	学校は、学校行事を通して、自分の自信を高め、仲間と協力する心を育もうとしていると思いますか。		88.8	↑1.2
18	学校は、読書活動を大切にし、豊かな心を育もうとしていると思いますか。		79.6	20.4
19	学校行事は充実し、お子さんは生き生きと活動していると思いますか。		79.6	20.4
20	PTA活動が活発で充実していると思いますか。	+3.53	65.9	34.1
21	自然災害や緊急時の対応について、生徒手帳や緊急連絡をもとに家族で確認していますか。	-3.10	54.6	45.4
22	お子さんがインターネット、スマートフォン等の利用をするにあたって、我が家のルールなどの約束事を作っていますか。		69.0	31.0
23	スマートフォン等を持たせている場合は、フィルタリングをかけていますか。		75.2	24.8
24	お子さんは、毎日、朝食を食べていますか。		95.5	4.5
25	お子さんは、毎日、歯磨きをしていますか。		95.1	4.9

## 10. 学校はいじめや問題行動にたいねいに対応していると思うか

お子様を安心して学校に預けていただくには、この項目での「よくあてはまる」という回答が多いことが重要だと考えています。この項目と大きな関連がある項目11とともに、今後改善できるように職員一丸となり取り組んでまいります。

## 15. 学校は授業参観や行事など開かれた学校づくりに努めていると思うか

コロナ禍で制限された学校生活を取り戻せるように、生徒の思いや職員の考えを取り入れながら状況に応じて活動をできる限り広げようと努めてきました。評価をしていただき幸いです。今後も何ができるかをよく検討し、開かれた学校づくりに努めてまいります。

## 11. 教師にお子さんのことを気軽に相談できるか

7月発行の葵中新聞巻頭言で、この項目で「よくあてはまる」という回答が多くなるのが大切だと考えていると書きました。しかし、結果は昨年度よりも減少となりました。真摯に受け止め、改善できるように努めてまいります。

## 20. PTA活動が活発で充実していると思うか

葵中のPTAは、コロナ禍ではあっても生徒たちのために何か支援をすることはできないかと前向きに考え、実行してまいります。今年度は、PTAサポーターズの新設も提案されました。積極的なPTA活動に感謝しています。次年度もどうぞよろしく願いいたします。

## 防災教育で学んだこと

二年五組

私は、今回の出前講座を聞いて、より具体的に防災について考えることができました。いちばん印象に残ったのが「釜石の奇跡」です。生徒たちが、臨機応変に自ら考えて行動した姿はすごいと思いました。災害以外でも備えることは大切ですが、防災はそれ以上に大切な命を守り、災害に備えるためにあります。学年全体が集中してメモをとったり話を聞いたりしたように、防災について関心をもち続け、生涯を通して自分ごととして向き合っていくべきだと思います。私は、今回学んだ「ランニングストック」を実践して災害に備えていきたいです。



## 学校保健委員会で気づいたこと

三年五組

講師の竹内先生から、人によってコミュニケーションの中で使いやすさや五感が異なり、V(視覚)タイプ、A(聴覚)タイプ、K(体感覚)タイプがあることを学びました。これまでの友達

との関わりを思い返してみると、私がコミュニケーションの中で度々感じていた違和感は、この五感のタイプの違いによるものだと気づきました。相手のタイプを想像して関わることで、相手への興味も出てくるし、トラブルが少なくなり、楽しい学校生活ができると思います。自分だけでなく、中学生全体の人間関係がより円滑になるといいなと思うので、これからはお互いのタイプの違いを尊重し合ってコミュニケーションを取ろうと思いました。



## あおいMAXを終えて

生徒会役員

級長としてクラスをまとめて、会に参加する立場から、生徒会として議題を決めて、学校を支えまとめる立場となつて臨んだ今回のあおいMAX。

僕は当日、各フロアを回っていました。その中で、級長を中心に話を進め盛り上がりつつあるクラスを多く目しました。話を上手に進めていく級長の方々に、積極的な意見をしてくれて生徒の皆さんのおかげで、中身の濃い

会にすることができました。ご協力ありがとうございました。皆さんの意見をもとに、葵中にとつて最適な結論が出せるように、これからも努めていきたいと思っています。



## ピブリオバトルを終えて

図書委員長

僕は、今回のピブリオバトルを開催するにあたって、特別な思いがありました。委員会でのような大きな企画の運営するのが初めてだったからです。やるからには絶対成功させようと思っていました。それでも、始まる前には、参加希望者が少なく、成功させられるかどうか不安になったこともありました。ですが、予選初日からたくさんの方が見に来てくれて盛り上がり、とても楽しい四日間になりました。



やってよかったと思っています。これからも、図書委員として、ピブリオバトルなどの全校で楽しめる企画を考え、開催していきたいです。

## 北高サイエンスセミナーに参加して

三年三組

私は北高サイエンス部の皆さんが主催したサイエンスショーに参加しました。ショーでは何の変哲もない液体を混ぜると色が変わったり、炎がカラフルになったりおもしろくて興味深い実験ばかりでした。「おぉっ！」と歓声が上がったり、笑ったり、とても楽しかったです。サイエンス部の皆さんが解説してくれて新しいことを知ることができました。とてもおもしろくて、私もあんな実験がしてみたいと思いました。サイエンス部のみなさん、すてきなショーをありがとうございました。



# 校内書き締め会

引き締まった雰囲気各教室で書き締め会が行われました。一年生は「温故知新」、二年生は「信念を貫く」、三年生は「生命を尊ぶ」を書き上げました。一筆一筆に集中して書き上げる姿はとてすがすがしいものでした。金賞と銀賞が選ばれ、金賞受賞者の作品は、市書き初め展に出品されました。



▲ 岡崎市民駅伝

▲ 校内書き締め会

## 今後の予定

二月

一三日(月)～一五日(水)

一・二年学年末テスト

一六日(木) ひまわりプロジェクト

二〇日(月) 後期生徒総会

二二日(水) 公立高校学力検査

二四日(金) 公立高校A日程面接検査

二七日(月) 公立高校B日程面接検査

三月

二日(木) 卒業を祝う会

三日(金) 卒業式予行

六日(月) 同窓会入会式(三年)

七日(火) 第七六回卒業証書授与式

九日(木) 公立高校合格発表

ひまわりプロジェクト

一・二年保護者会(希望制)

一〇日(金) 一・二年保護者会(希望制)

一三日(月) 全校集会

一・二年保護者会(希望制)

二三日(木) 給食終了

二四日(金) 大掃除・ワックス

二五日(土) 修了式

春休み

## 表彰の記録

県アンサンブルコンテスト

西三河地区大会 銀賞 吹奏楽部

岡崎市ハンドボール選手権大会

二位 ハンドボール部

岡崎市中生強化リーグ

二位 トーナメント 優勝

卓球部男子



## 自分で選択をする

進路指導主事 神谷 尚希

中学校から高校における進路選択は、多くの生徒にとって初めての人生選択になることがほとんどである。選択する際、誰もが悩んだり、不安になったりした経験があるはずだ。私は、そんな彼らの不安を少しでも取り払ってやりたい、支えたい、と思う。進路支援をしている。

進路選択で最も大切なのは、「自分で選ぶこと」だ。そのために必要な情報を集め、伝えてきたつもりである。どんなことでもそうだが、人に決めてもらったことと、自分で考え、決めて動くことでは、本気度が変わってくる。本気になれば、行動が変わる。行動が変われば、より濃い人生になると信じている。だからこそ、中学校三年生の人生選択で、「自分で選ぶ」経験が大事なのだ。

「先生、就職先が決まりました。まだまだやること多く、全然ゴールではないのですが、報告します。大変ですが、充実しています。自分で決めた看護師という仕事、頑張ります。」

教え子から連絡が来た。私がもっともうれしい瞬間である。今年、初めて人生選択をし、自分の道の本気になって歩み出す中学三年生のみさんが、この人のように自分で選択することを選び返し、人生を豊かにしていった。そして、何年後かに自分が選んだ道を笑顔で報告してくれようと思う。